



もったいないで
つづく世界へ

無償で困っている方へ食品をお届けしております

フードバンク湘南



1 貧困をなくそう

6人に1人の相対的貧困

6人に1人とは、日本にいる18歳以下の人口に匹敵します。歩いていて見かける子供数と同じだけ、相対的貧困は身近にあるのです。これはG7中ワースト2位の数字と言われ、SDGsにおいても日本の評価を下げる最大要因の1つと言われております。

12 つくる責任
つかう責任

捨てられてしまう食品

まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は643万トン。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量(平成29年で年間約380万トン)の1.7倍に相当します必要な方へお届けしたい！その想いで活動しております。

17 パートナシップで
目標を達成しよう

皆様のお力が必要です！

フードバンクという活動を継続性を持って行うには資金の調達は必須です。しかし、昨今NPOであっても活動継続していくことが厳しい状況であり、我々は無償でフードバンク活動を継続するため、企業さまの協力を必要としています。

- ・何かお仕事を受注させて頂き、その対価を活動資金に充てる
 - ・フードバンクの活動そのもののお手伝いをして頂く
 - ・ご寄付を頂く
- などいろいろな形で皆様のお力をお借りしたく、どうか宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人フードバンク湘南
 神奈川県平塚市山下12-1 リゾート高麗101
 TEL 0463-79-5824
 FAX 0463-79-5825
 担当久松





特定非営利活動法人 フードバンク湘南

目的

食品ロスから、必要とされる方へ

食品ロスとは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。

日本では、年間2,759万トン(※)の食品廃棄物等が出されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄される食品、いわゆる「食品ロス」は643万トン(※)。これは、世界中で飢餓に苦しむ人々に向けた世界の食糧援助量(平成29年で年間約380万トン)の1.7倍に相当します。また、食品ロスを国民一人当たりで換算すると「お茶碗約1杯分(約139g)の食べもの」が毎日捨てられていることになるのです。

大切な資源の有効活用や環境負荷への配慮から、食品ロスを減らすことが必要です。

※農林水産省及び環境省「平成28年度推計」

一方で食品を必要としている方は6人に1人とされており、無駄になってしまう食品と皆様の温かい寄付を基に、困っている方へ食品を無償でお届けすることが我々の活動となります。

2017年度	468名
2018年度	2288名
2019年度	3924名
2020年度	8288名



への支援を行って参りました。

食品寄付の行先について

頂いた食品は直接ご家庭への配布、子ども食堂へのご提供、炊き出しへのご提供、イベントでの緊急支援に使われております。フードバンク湘南が直接利用者様にお渡しすることがほとんどですが、市町村の福祉関連各課や社会福祉協議会、学童保育や保育園といった団体様にもお渡しし必要な方へ食品をお届けしております。



ご寄付の用途について

現在我々フードバンク湘南は地元平塚市をはじめとする公共団体から金銭的支援は一切なく、活動に関するガソリン代、家賃関連から保存のための空調から冷蔵庫等の電気代迄、すべて自腹での活動をしております。温かい企業の皆様より支援を受けている事務所や寄付金で賄える一部の費用を含め困窮者様へいきわたる全てのご支援を自信と民間の力のみで運営しております。ご寄付頂いた資金の用途につきましては、チラシの印刷から電気代をはじめ人件費(人件費は0のため)を除くすべての必要最低限の支出に使わせて頂いております。

寄付の方法

ご寄付につきましては可能な限り、直接お会いしてお礼を申し上げたく思います。

火曜 木曜 金曜 AM11時～PM4時
0463-79-5824

までお知らせ願えましたら幸いです。
無理なようでしたら

みずほ銀行 平塚支店 普通
3004119 (トクヒ)フードバンクショウナン
まで宜しくお願い申し上げます

